

第20回

デジタル業務改革／ BPMフォーラム2025

ご協賛企画書（第1版）

■団体の概要・活動の目的

『経営とITの融合を目指して』

公益社団法人企業情報化協会（IT協会）は、1981年7月に公益法人として通商産業大臣（現・経済産業大臣）の認可のもと、通商産業省機械情報産業局電子政策課を所管官庁として設立されました。（2013年4月より公益社団法人として認可）現在は一部上場、二部上場企業などの会員（IT協会準会員(カスタマーサポート部門)含む）で構成されています。企業の情報化に関する調査研究及び開発を行い、その成果の普及並びに実施を促進することによりわが国の社会・経済及び産業の健全な発展に寄与することを目的としています。

■活動

『デジタル業務改革／BPM推進のサポート』

デジタル技術を活用した業務改革を推進する企業、団体の方に様々なサポートサービスをご提供しています。

『ITマネジメント推進活動』

企業経営における真のIT有効活用を目指して、戦略実現のための「経営の可視化」の取り組みを推進しています。

『コンタクトセンター推進活動』

顧客満足に貢献するコンタクトセンターを追求し、機能強化・普及・課題解決に取り組む、国内唯一の公的機関です。

【具体的な活動例】

表彰制度



交流会



カスタマーサポート シンポジウム



IT戦略総合大会



研究会



海外調査研究



第20回 デジタル業務改革／BPMフォーラム2025

■開催の背景

DX実現に向けた業務改革のための情報発信の場となる1ヶ月間

本フォーラムは2006年3月に第1回を開催し、今年で**20年目**を迎え、その間一環して「業務プロセスの継続的改革」の重要性を訴えてまいりましたが、ここ数年企業がデジタル技術を活用して経営や事業を変革する取り組みである「デジタルトランスフォーメーション」が注目され、変革を実現するための業務改革にも目を向けられるようになりました。

加えて、昨今の新型コロナウイルス対応で加速した働き方改革のため、各社とも在宅勤務やオンライン会議などの実施により、より業務プロセスの明確化、効率化が必要とされてきております。このような状況下において企業情報化協会では、ICT技術活用による**業務プロセスの継続的改善と効率化における最新情報発信の場**として、本フォーラムを開催いたします。

■会期（予定）

2025年11月10日（月）フォーラムご案内サイトオープン ～ 2026年1月9日（金）配信終了日

■開催方法

- ① オンライン開催・録画配信（収録は①貴社で収録、②小会ウェビナースタジオにて収録、③オンライン会議を使用して収録）
- ② 会場限定イベントも開催（6ページ目イベント概要Ⅱをご参照ください）

■公開期間

2025年12月10日（月）～2026年1月9日（金）※予定

■ターゲット

幅広い業種の

企業経営者/役員、IT/情報システム担当役員および管理責任者、マーケティング部門、経営企画部門、コールセンター／コンタクトセンター運営担当者

■ご協賛による効果

新規顧客獲得／イメージアップ／販売促進効果／知名度の向上

配信例



■プログラム



☞基調講演では著名な経営者の方にご講演いただくことで、フォーラムへの関心度を高めます。

昨年ご登壇者：

滋賀大学
データサイエンス学部
教授 河本 薫氏



今年度も聴講者の関心を引く経営者の方にご講演をお願いする予定です。

■ご協賛特典

1 自社製品・ソリューション・ユーザー事例の発表枠をご提供

本フォーラムにおいて、ユーザー事例を含めた自社製品・サービス等のコンセプトや特徴を効果的にプロモーションしていただく場をご提供します。課題意識をお持ちのフォーラムご参加者に対し貴社PRの場として、ご活用ください。
(収録後公開期間を設けます)

ご参加者情報リストイメージ

No.	会社名	部署	役職	参加者属性			会社規模					最終 研修	アクティビティ履歴	
				ユーザー	バンダー	未参加	10人未満	10人～ ～100人未満	100人～ ～500人未満	500人～ 1,000人未満	1,000人以上	55-1	55-1 参加	55-1 参加時
00	〇〇株式会社	情報化推進部	一部	○						○		○		
00	〇〇株式会社	コーポレートソリューション部	なし			○						○		
00	〇〇株式会社	ハードウェアビジネスサポート部	課長	○						○		○	○	
00	〇〇株式会社	デジタルソリューション第二本部 [C] 特任部長			○						○	○	○	
00	〇〇株式会社	営業本部	執行役員 営業統括部長		○				○			○		
00	〇〇株式会社	情報管理部		○						○		○		
00	〇〇株式会社	営業本部	情報システム部長	○						○		○		
00	〇〇株式会社	情報管理部	課長			○					○	○		
00	〇〇株式会社	総務企画部	担当部長		○						○	○		
00	〇〇株式会社	情報システム部		○							○	○		

2 参加者情報・開催結果報告書のご提供

フォーラムの参加者で情報提供を承諾された方の情報及び参加者の関心事項等のアンケート集計結果を動画配信終了後に提供します。

開催結果報告書イメージ

ご参加者情報リストでご提供する情報は、

- セッションご参加者様情報を含めてご提供
- 会社名/所属/役職/お名前/メール/住所/電話番号(任意)
- 貴社セッション登録フラグ/貴社セッション視聴履歴フラグ

※Cookieの利用を許可している方のみとなりますが、参加者のアクティビティ履歴を紐づけてフラグを付けたリストをご提供

※2022年4月より改正される個人情報保護法に則しております。

開催結果報告書でご提供する情報は、

- ご講演の感想/ご参加者属性（業種/職種/役職）などをご提供

CONFIDENTIAL

4 終了アンケート集計結果

Q1：あなたが観た講演の感想などをお聞かせください

【基調講演1】日揮ホールディングス株式会社

- 本質的な課題を如何に正確に把握することが重要か、理解できた。
- 参考になった。
- ソーシャルスタイル分析による人材開発に興味があった。
- 引用されたたとえ話は非常に、講演の中身も充実していて説得力を感じました。
- たしかに人材開発は重要と再認識した。
- デジタル戦略のロードマップ「IT」ブランドプラン、ソーシャルスタイル分析による人材開発はデジタル戦略策定、デジタル人材育成の面で大変参考になりました。
- 大変参考になりました。
- 今後の経営改善の参考としたい。
- グローバル展開している企業としてかなり先の将来を見据えており参考となりました。
- Whyの部分で重要である点、いま付が出来るか、ニーズの本質を知るのに繋がるとなるのがスキーマであることが理解が深まりました。最後のスキーマの解説で明確になったと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- 企業の現状が色々と拝聴でき、大変参考になりました。
- ITに詳しく、2018年から2019年時点では就業態勢に立ち遅れていたところから、どのように取り組んできたかの紹介は、ITの取り組みが選んでいる企業にとって参考となるお話であった。ロードマップアクションプランの展開などイメージがつかめた。
- また、実践に即けての課題としてあげられていた、「スピード感にギャップ」「一体感にギャップ」は同業であるという点でも参考にできる取り組みが参考になりました。
- 「ソーシャルスタイル分析」と「スキーマ」の話題が大変興味深々拝聴出来ました。
- 将来を展望した取り組みが行われていることがよく分かりました。
- 海外での取り組みの視座を具体的に理解でき、ありがとうございました。
- 横 Tech は弊社でも一番 IT 化を進めたほうが良い感じだったので、参考となった。また、IT ロードマップについて各社が興味を持っていました。
- デジタル戦略のロードマップは大変参考になりました。
- 「課題と組織変革の対応策」は自分の体験とマッチすることがあり参考になった。

【基調講演2】全日本空輸株式会社

- やはり現場をよく知っている人が前向きに取り組まないと上手くいかないと感じた。
- 参考になった。
- コロナ禍を現場のDX化のチャンスに変えよう、IT部門と現場の人の業務の交流の機会に活用しようという方向性を掲げられていることを強く感じました。
- コロナ禍だからこそDXはその通り。
- DX人材を育成する上で、現場を良く知るメンバーをDX人材化していくための施策が大変参考になりました。
- 大変参考になりました。
- 今後の業務改善の参考としたい。
- コロナで事業が停滞している中でDXをテーマに様々な企業努力をしていることがわかりました。
- ドローンプロシフト、Avatarプロシフトの取組に興味を持ちました。遠慮からのアプロシフトはこれからの新たなサービスの広がりがあると感じました。

CONFIDENTIAL

Q3：本フォーラムに次回以降もご参加されますか

内容による：122%

必ず参加する：30%

多分参加する：48%

Q4：今後、聞いてみたいテーマや全般的な意見・ご感想をお聞かせください

- 8PMをベースとしてDXを推進した事例をもっと聞きたい。
- DXの成功事例。
- 日本の人材のDX向上策・業務効率化の良い方針・事例の紹介。
- より具体的な研修手法について。
- データサイエンスの活用について。
- デジタルの今後の取り組みについて。
- 来年はリアルで開催できると良いですね。
- 講演資料がダウンロードできるのと、視聴後アンケートを答えた場合のみダウンロードできる講演があった。視聴後アンケート後の資料提供はわかるが、その場合は、講演内容がどのようなものかわかるような説明があるとよい。
- AIチャットボット。
- 業務改善。
- 中小企業のDX導入法。
- 業務改善部門のチームを育てていくためのベストプラクティス、ベストプラクティスがあればぜひ聞きたい。
- 業務分析の方法。

Q5：本フォーラムにご参加の目的を満了することはできましたか

普通：115%

満足：26%

ほぼ満足：59%

昨年（第19回）は下記のとおり会場限定イベントを実施いたしました。
今年（第20回）についても会場限定イベントを実施予定です。

【参考資料】第19回デジタル業務改革／BPMフォーラム2024 デジ改Live！（※昨年のイベント）

イベント参加者とスポンサー様をつなぐ会場イベントを開催いたします。

名称：第19回デジタル業務改革／BPMフォーラム2024 デジ改Live！

会期：2024年12月5日（木）14：30～17：00、終了後懇親会

会場：東京プリンスホテル本館2階 サンフラワーホール

参加対象者：アーカイブ聴講者

IT協会会員企業

関係者各位

特徴：1. ここでしか聞けない講演・実践事例をご発表いただきます。

本イベントはオンライン配信をいたしません。

2. 個別質問対応コーナーを設置します（今回の協賛企業様向けテーブル椅子設置）

アーカイブ配信をご覧になられた方の個別の質問等にお答えいただく場所といたします。

※質問受付コーナーですので、ブース設置のスペースはございません。

3. IT協会会員交流会を併催※今年度の併催については未定です。

小会会員交流会を併催します。懇親会もありますので小会関係者、聴講者のみなさまと懇親、名刺交換してください。

※小会会員交流会としてお申込みいただいた方のリード情報のご提供はできませんが、来場された方とお名刺交換された場合にはその限りではありません。



集客に向けて、多彩なプロモーション活動ならびにコンテンツを予定しております

その他にもご参加者にご興味を持ってもらえるコンテンツを検討中です！

プロモーション活動

① SNS・DM・メール配信によるプロモーション

SNS、IT協会関連顧客に対するダイレクトメールおよびWebとE-Mailによる開催案内を発信いたします。また、本フォーラムの案内リーフレットを作成し、送付いたします。

② 小会会員企業訪問による参加者募集

小会事務局員が会員企業へ直接訪問し、参加を呼びかけます。

③ メディア活用

報道機関（一般・専門誌）へのニュースリリース配信を予定しております。

④ 業界団体・公益法人の協力

各種ご後援団体の協力を得て、各会員等への周知を行います。

⑤ 小会Webサイトでの各種プロモーション

本フォーラム案内サイト・配信サイトを活用し、広く告知を行いますとともに、協賛各社様サイトへのリンクを掲載致します。

昨年度活用例



PR TIMES

PICKUP Contents

👉 公開期間1週間前に全体のプロモーション動画を配信！

フォーラム公開前に先立ち、各企業の講演者情報などプロモーション動画を配信することで、視聴者の参加意欲を掻き立て、フォーラム全体を盛り上げます。

👉 スポンサーセッション内でユーザー事例の発表枠の企画を検討！

貴社ソリューションを実際に導入されているユーザー企業様のセッション等、ユーザー事例をプログラムに企画することで、総合的な情報発信の場として、集客へ繋がります。

■参考情報① 過去ご参加企業・ご協賛企業例

過去ご参加企業例

東京ガス i ネット／トッパン・フォームズ／大京／デンソー／ソフトバンク／田辺三菱製薬プロビジョン／日本情報通信／協和エクシオ／N E Cソリューションイノベータ／オカムラ／マネージビジネス／ NTT東日本／富士フイルムビジネスイノベーション／江崎グリコ／ヤマト運輸／楽天グループ／凸版印刷／三菱電機／成田国際空港／関電システムズ／JTBコミュニケーションデザイン／オリックス銀行／日清ファルマ／味の素 A G F／積水化学工業／日立製作所／ゆうちょ銀行／ベネッセホールディングス／LIXIL／東日本旅客鉄道／NTTコムウェア／三菱総合研究所／キャノンマーケティングジャパン／東京海上日動コミュニケーションズ／パーソルテンプスタッフ／クボタシステムズ／日本年金機構／森トラスト／三井E&Sマシナリー／三菱UFJリサーチ&コンサルティング／住友林業情報システム／村田製作所／京王電鉄／KDDI／伊藤忠商事／ヤフー／富士通 J a p a n／SUBARU／スズキ／ドコモCS／花王／日本総合研究所／資生堂（順不同・法人格省略）

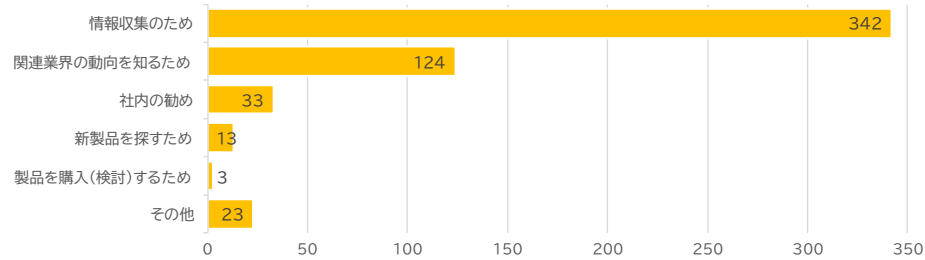
過去ご協賛企業例

NTTデータイントラマート／エスコ・ジャパン／エル・ティー・エス／イノベティブ・ソリューションズ／サン・プランニング・システムズ／SAPジャパン／シグナビオ・ジャパン／フィックスポイント／プリマジェスト／トッパン・フォームズ／日本能率協会コンサルティング／日本能率協会総合研究所／ユニリタ／Celonis／Regrit Partners／オージス総研／パーソルワークススイッチコンサルティング（順不同・法人格省略）

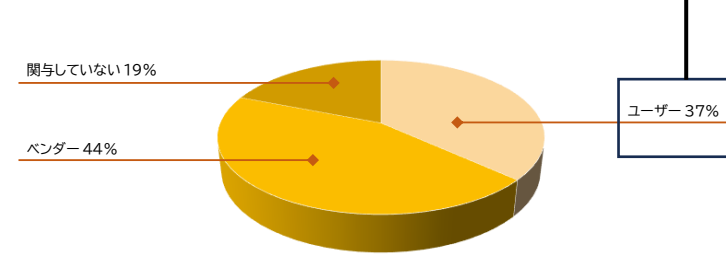
■参考情報② 2023年度（第18回）分析（開催結果報告書より）

ご参加目的／立場

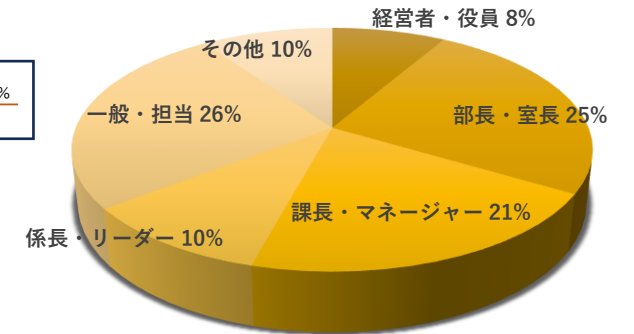
ご参加目的



ご参加企業立場



ユーザー企業役職分布



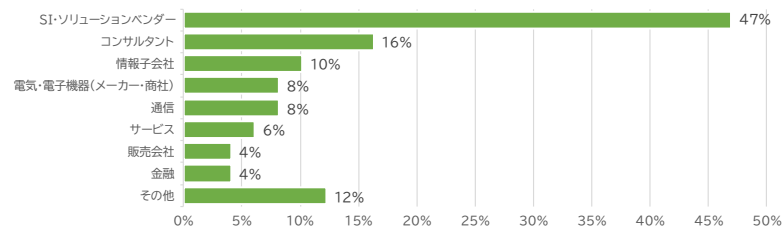
👉 ご参加者の半数以上が情報収集含めサービス・製品をお探しです

👉 4割弱がユーザー企業です

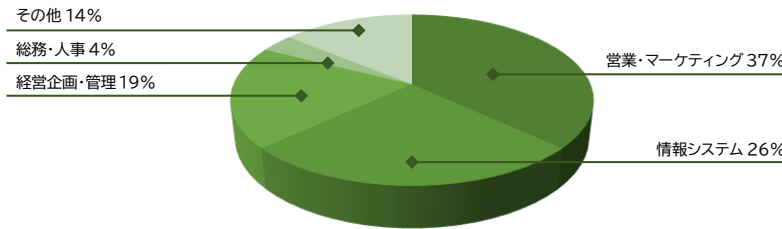
👉 ユーザー企業においては、課長以上が過半数を占めます

ご参加者属性

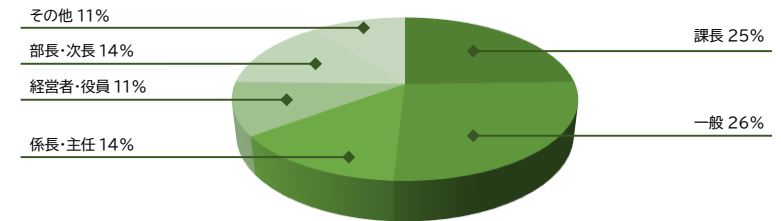
ご参加者業種



ご参加者職種



ご参加者役職



👉 幅広い業種からご参加いただいております

👉 情シス・営業・マーケ・経営企画担当の参加者が多いです

👉 裁量権をお持ちの役職の方の参加が多いです

■今後のスケジュール（予定）

10月15日（水）	ご協賛お申込締切日
11月10日（月）	フォーラムご案内サイトオープン（予定）
12月5日（金）	会場限定イベント開催
12月10日（水）	配信スタート
1月9日（金）	配信終了

■ご協賛金額

会 員 企 業： 800,000円（税別）
一 般： 1,100,000円（税別）

注：会員企業とは、「IT協会会員」を指します。入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

注：協賛に関わる特典等の詳細につきましては、担当よりご連絡させていただきます。

■お申込み方法／お問い合わせ先

下記担当宛、別紙の「協賛に関する承諾書」の必要事項をお書き添えいただき、PDFにてメール送信下さい。

公益社団法人企業情報化協会（IT協会）デジタル業務改革/BPMフォーラム事務局

（担当：神村・江頭）

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル3F

TEL.03-3434-6677 FAX.03-3459-1704 URL/<http://www.jiit.or.jp> E-Mail : info@jiit.or.jp

■ご協賛お申し込み締め切期日

2025年 **10月15日(水)**

※ 所定協賛枠 **10社** が満杯になり次第、
締め切らせて頂きます